

入 学 式 式 辞

城南の丘の桜は、数日前の強風を耐え抜き、今、満開を迎え、みなさんの入学の日を祝っているかのようです。

保護者のみなさま、お子様のご入学おめでとうございます。中学校の制服を身にまとい、式場に立つお子様の姿を見られ、またひとつ、成長した姿をかみしめておられることと思います。中学校の教育活動は、保護者のみなさまを始めとして、地域の方々のご理解とご支援により成り立っています。これからの三年間、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。希望に満ちあふれた49名の皆さんの入学を、教職員一同、そして、2、3年生全員で心から歓迎します。中学校での3年間は、義務教育の仕上げとなる大切な3年間です。心と体と知性を大きく成長させ、「自分で」選んだ進路へと進んでいくための大切な準備期間にしてください。

さて、城端中学校には、その成長のために大切にしてほしい、3つの「校訓」があります。今日は、先輩方から引き継がれているこの校訓、「自主自立」「誠心誠意」「不撓不屈」についてお話します。

まず「自主自立」です。これは、自分から進んでものごとを行い、責任をもって行動することです。

学習や部活動、学校行事などをやりなさいと言われたからと、ただ漫然とこなすのと、「やりたい!」と意欲的に、そして、なぜやるのか考え、必要感をもって、やるのでは、結果や成長が大きく変わってきます。

わたしのやる気をいつも引き出してくれる言葉に「なんのために生まれて、何をして生きるのか?」という問いかけがあります。今日、ここで、みなさんにこの言葉を投げかけます。この中学校の三年間、「何をして生きるのか?」この答えを探す大切な3年間にしてください。人生を長く生きていくと、「ああ、自分はこの日のために、この一瞬のために生きてきたのだ!」と心の底から強く感じるができる時を味わうことができます。それは、いつ、どのタイミングでやってくるかはわかりませんが、その一瞬を数多く味わうことができるように、大切な命を、そして、この三年という、かけがえのない時間を、どのように使うべきか? いつも心に自問自答しながら、向上心と必要感をもって、様々な活動に取り組んでください。

次は、「誠心誠意」です。まごころをこめて、本気で真剣にものごとに取り組むことです。

たくましい体を育てるには、運動が必要ですが、豊かなこころを育てるには感動が必要です。こころをたくさん動かすことで、豊かで強く、やさしい心が育ちます。

わたしの好きな言葉に「本気でやらなきゃ心は動かない!」という言葉があります。本気で物事に取り組んだ時にこそ、結果はどうであれ、大きく心が動きます。心の底が湧き上がるよろこびや、くやしさをたくさん味わってください。涙は、心の汗とよく言われますが、うれし涙や悔し涙、そして感動の涙をたくさん流し、しなやかで、やさしく、強いこころを育ててください。

最後は「不撓不屈」です。困難に立ち向かい、くじけずに頑張ることです。

中学校生活では、何度も失敗したり、悩んだり、やり続けることが苦しかったり、うまくいかなかったりすることもあるでしょう。そして、すぐに結果が出ないことも何度もあります。

わたしをこれまで支えてくれた言葉に「努力した者が成功するとは限らない、しかし、成功する者は皆、必ず努力している。」という言葉があります。社会や現実には厳しい一面もあります。ここで、あきらめずにチャレンジし続け、努力を続けると必ず成功する。とは言いません。しかし、この言葉にあるように、努力しない者が栄光を勝ち取ることはありません。また、仮に、思うような結果が出なくても、努力した事実は、次に進むためのエネルギーになり、たとえ、目標に届かなかったとしても、自分なりの成功を勝ち取ることはできます。いわゆる「一生懸命やったから悔いはない!」という状態です。これは、自分の成長のためにとても重要なことです。そして、この結果に関わらず取り組む不撓不屈の精神こそ、みなさんのこころの基盤として身に付けてほしいことです。

さて、このように取り組んだとしても、困ったことや、悩むことが出てくるのが青春で、人生です。そんなときは、周りの人に何でも話しをしたり、相談したりしてください。きっと、先輩も、先生も、家族も、地域の方も、みなさんに力を貸してくれるはずです。そして、自分なりに目標を修正し、何度でも再挑戦をしてください。

さあ、新入生の皆さん、今日から新しいスタートです。3年後、ここにいる一人一人が、城南の丘に咲く美しい桜の下で、「城中はとっても楽しかった!そして、大きく成長したなあ!」と実感し、夢をもって次のステージに進んでいけるよう、この3つの校訓を大切に、中学校生活に取り組んでください。